

巣箱（商品番号：BH001、BH002）取り扱い説明書

1. 巣箱とは

人間が出産・子育てをするときに病院や家が必要なように、野鳥には卵を産み、ヒナを育て、巣立っていくまでに必要な場所が巣です。野鳥の種類によって巣をかける場所は違います。メジロのように樹木の枝に巣をかける鳥、カワセミのように土の崖に穴を掘る鳥、シジュウカラのように樹洞の中に巣を作る鳥など様々です。樹洞のある樹木が減っている現在、その代用となるものが巣箱です。



ちなみに人間は子育ての時期以外も家で過ごしますが、野鳥は巣を子育ての時期のみ利用します。普段は木陰などをねぐらとして利用しています。

2. 巣箱の機能・仕様について

- ・本製品は野鳥が営巣するための空間を提供します。野鳥が出入りするための巣穴、雨風を防ぐための屋根、外壁、床からなります。
- ・巣穴の直径は 30mm です。シジュウカラやヤマガラなどが利用します。
- ・添付されているシュロ縄で樹木に巣箱を固定できます。
- ・サイズ：幅 180mm × 奥行 170mm × 高さ 230mm
- ・材質：木製(桐)

3. 巣箱のかけ方

(1) 巣箱をかける時期

- ・箱の設置時期は1年のうちのいつでも構いません。ただし巣箱を設置しても直ぐに野鳥が営巣するとは限りません。巣箱を設置すると最初は、野鳥は巣箱を人工物として警戒しますので慣れるための時間が必要です。シジュウカラやヤマガラの営巣時期は春から初夏で、1回だけでなく2回営巣することもあります。できるだけ早めに設置するとよいでしょう。

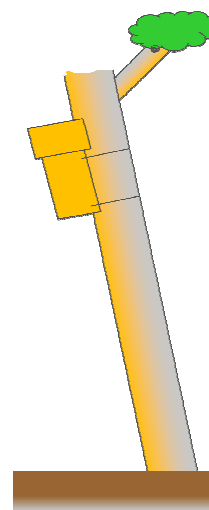
(2) 巣箱をかける樹木の選定

- ・庭のなかでなるべく大きな樹木を選びましょう。
- ・樹木が集中している場合、中ほどではなく親鳥が巣箱に出入りしやすい外側の樹木を選びましょう。
- ・地面から巣箱をかける高さまで枝がないこと（天敵であるネコやヘビなどが登りにくい）。
- ・幹の近くに他の木の枝が伸びてきていないこと（ 〃 ）。

- ・ 幹にツル性の植物などがからみついていないこと（ 〃 ）。
- ・ 幹が巣箱の取り付けに適した場所がある側に向かって、少し傾いていること。

（3）樹木へ巣箱をかける位置の決定

- ・ 高さ 1.5～2m位のところ。
- ・ 巣箱の傾きはやや下向き（雨が入りにくいように）。
- ・ 巣箱の向きは親鳥が出入りしやすいよう前面が障害物などがない開けた向きとすること。



（4）巣箱の設置

- ・ 巣箱をかける場所が決まったら、樹木へシュロ縄で巣箱を固定します。
- ・ マンションなどのベランダに巣箱を設置する場合、やってきた野鳥の糞で周りの方の洗濯物や車などが汚れてしまう可能性があります。十分注意してください。

4. 巣箱の維持

- ・ 営巣が終了した後、樹木に縛った巣箱のシュロ縄を一旦緩めましょう。シュロ縄をゆるめないと樹木は成長しているため、樹皮（形成層）がシュロ縄を覆ってしまいます。シュロ縄が樹皮に覆われてしまうと、シュロ縄を切断しないと巣箱を取り外せなくなる可能性があります。また幹に喰い込んだシュロ縄が樹木の養分や水分の行き来を妨げ、木の成長を妨げることにつながります。
- ・ 営巣が終了した巣箱は巣材を取り出しきれいに清掃しても、あるいはそのままでもどちらでも構いません。シジュウカラやヤマガラは自然界では樹木の老化によりできた樹洞やキツツキの仲間などが作った樹洞に営巣し、新築と中古の両方のパターンがあるためです。

5. 巣箱の楽しみ方

- ・ 野鳥が巣箱で営巣を開始したら遠くからそっと見守りましょう。営巣中の巣箱に頻りに近づくことは、親鳥にストレスを与えることとなり、最悪、営巣を放棄することにつながります。
- ・ 我が家ではダイニングの窓から見えるエノキに巣箱をかけています。食事をしながら野鳥が子育てをする様子を間近で見ることができます。
- ・ 2014 年はシジュウカラが営巣しましたが、2015 年から 2017 年は3年連続ヤマガラが営巣しました。
- ・ 2017 年のヤマガラの営巣の様子です。ちよくちよくと巣箱の下見に来ていたヤマガラの

夫婦ですが、3月20日、巣づくりが始まりました。夫婦で巣材としてのコケを巣穴に運びこんでいます。4月4日メスが産卵をはじめました。1日1個ずつ卵を産みます。7個目を産卵した後の4月10日より抱卵に入りました。4月25日、6羽に雛が孵りました。残念ながら1個は孵りませんでした。これから子育て。オスとメスが交互に忙しく食べ物を巣穴に運び込みます。5月11日、巣立ちの日です。6羽のヒナが無事巣立っていきました。野鳥の子育ての様子、見ていて楽しいものです。

- ・人間の子どもが成長し巣立っていくのには20年かかりますが（成人式は20歳）、シジュウカラやヤマガラなどの野鳥は卵が産み落とされてからヒナがかえり、巣立っていくまでの期間はわずか1ヶ月余りです。自然界でたくましく育っていく彼らをそっと見守りましょう。

6. 環境からみた巣箱

- ・都市周辺部では、シジュウカラやヤマガラなどが巣をつくる樹洞のある樹木が減ってきています。
- ・そのため、その代用として庭などに巣箱を設置することは野鳥が生きていくために必要な営巣条件を満たす場所を提供することになり、野鳥の活動範囲を広げることにつながります。
- ・野鳥が生息していくためには、その行動範囲内に採食場所、水飲み場、水浴び場、休息場所、営巣場所がある必要があります。どれかひとつ欠けても野鳥はその場所では暮らして行けません。
- ・従いまして、みなさんが庭などに巣箱を設置することで野鳥の営巣場所を提供することになりますが、設置した巣箱を中心とした野鳥の行動圏内に採食場所、休息場所、水飲み場、水浴び場がなければ野鳥が設置した巣箱に営巣する可能性は低くなります。
- ・設置した巣箱で野鳥が営巣する確率を高めるためには、採食場所としてのバードフィーダーの設置、休息場所としての樹木の植栽、水飲み場、水浴び場としてのバードバスの設置が有効です。
- ・多くの方々が庭などに巣箱やバードバスなどを設置することで、その地域の野鳥の暮らしやすさは向上していきます。
- ・庭などへの巣箱やバードバスの設置など人為的な行為はすべきでないといった意見の方もいらっしゃるかと思います。しかし野鳥たちが暮らす環境が減ってしまった原因を考えてみてください。人類の数（人口）が増え、その行動範囲が広がり、住宅確保や食料調達などのために、森林破壊や土地改良を繰り返してきました。すべて人為的行為です。人為的行為で破壊した自然を元に戻すためには、放置しておいてはなかなか元には戻りません。人為的行為で自然の再生を手助けしてあげる必要があります。
- ・一度開発された都市近郊の場所を元の森林や草原に戻すことは困難です。なぜならそうすると私たち人類が暮らしていけなくなります。しかし庭などへの巣箱やバードバスの

設置などの人為的な行為により、野鳥が棲みやすい環境を創り出すことはできます。

7. みなさまからの情報をお寄せください

- ・ 設置した巣箱で野鳥が営巣したら以下の情報を是非メールにてこちらへご連絡ください。
 - ・ 日時
 - ・ 場所
 - ・ 野鳥の種名（シジュウカラなど。わからない場合は大きさ（スズメ大など）、色などの特徴をお知らせください）
 - ・ 野鳥の行動（巣材は運んだ。食べ物を運んだ。ヒナが巣立ったなど）

以下のホームページなどで情報共有を図っていきたいと思います。

以上



Ver. 1.5 2017年8月17日

発行 畠山環境技術士事務所

〒256-0802 神奈川県小田原市小竹822-101

Tel:0465-43-4109

e-mail: bird.hatakeyama@jcom.zaq.ne.jp

<http://birdtherapy.jimdo.com/>